



ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン

YVC-330

取扱説明書(保証書つき)



ファームウェアをアップデートして、最新の機能をご利用ください。

最新のファームウェアと取扱説明書は、下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<https://sound-solution.yamaha.com/download/>



JA

目次

はじめに

安全上のご注意	3
警告	3
注意	5
使用上のご注意	6
Bluetooth® について	6
本製品の無線方式について	6
はじめに	7
箱の中身をご確認ください	7
本書の表記について	7
最新の機能を利用する	7
こんなことができます	8
各部の名称とはたらき	9
上面	9
側面	11
底面	11

基本的な使い方

設置する	12
通信機器と接続する	13
PC と USB ケーブルで接続する	13
Mac と USB ケーブルで接続する	17
スマートフォンやタブレットと Bluetooth 接続する	20
ビデオ会議システムとオーディオ ケーブルで接続する	23
連結接続する	24

便利な機能

便利な機能を使う	26
電源を供給する	26
スタンバイ状態に入る / 戻る (AC アダプター時)	26
スピーカー音量を調整する	27
マイクをミュートする	27
スピーカーをミュートする	27
Bluetooth 着信を受ける / 通話を 終了する	27
EXT IN/OUT 端子の接続機器を 選択する	28
Bluetooth 機能を有効 / 無効にする	28
工場出荷時設定に戻す	28
SoundCap を使用する	29

その他

困ったときは	30
お問い合わせになる前に	30
Q1 インジケーターが消灯 / 点滅 している	30
Q2 通話音質に問題がある	30
Q3 Bluetooth 接続に問題がある	33
主な仕様	34
総合	34
オーディオ	34
オプション	35
本製品のお客様サポートについて (サポート規定)	36
サポート窓口のご案内	37
本製品の保守サービスについて	37

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、本書の「警告」と「注意」をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。本書に示した「警告」と「注意」は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠警告



この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。




記号表示について









本書に表示されている記号には、次のような意味があります。








	「～しないでください」という禁止を示します。
	「実行してください」という強制を示します。

⚠警告

 必ず実行	AC アダプターは、必ずオプションの YPS-USB5VJ を使用する。それ以外の AC アダプターを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
 必ず実行	下記の場合には、すぐに USB ケーブルを抜く (USB バスパワー給電のとき)、もしくは AC アダプターをコンセントから抜く (AC アダプター給電のとき)。 <ul style="list-style-type: none"> ・異常なおいや音がする ・煙が出る ・破損した ・水がかかった そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。必ず販売店に修理や点検をご依頼ください。

 必ず実行	AC アダプターは、AC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
 必ず実行	AC アダプターは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。
 必ず実行	AC アダプターは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。差し込みが不十分なまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

 <p>必ず実行</p>	<p>コンセントやテーブルタップの電流容量を確認し、本製品を使用してもこの容量を越えないことを確認する。テーブルタップなどが過熱、劣化して火災の原因になります。</p>
 <p>ぬれ手禁止</p>	<p>ぬれた手で AC アダプター、ケーブルを抜き差ししない。感電や故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>端子部を指や金属で触れない。感電や故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>本製品を落下させたり、強い衝撃を与えない。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>本製品が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>分解・改造は絶対にしない。火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>放熱を妨げない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 布やテーブルクロスをかけない。 ・ じゅうたん、カーペットの上には設置しない。 ・ 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。 本製品の内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</p>
 <p>水ぬれ禁止</p>	<p>本製品は屋外や、水滴のかかる場所には設置しない。火災や感電、故障の原因になります。</p>

 <p>禁止</p>	<p>ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気があたる場所、腐蝕性ガスがかかる場所に設置しない。火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>本製品の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>内部に金属や紙片など異物を入れない。火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>雷が鳴りはじめたら、本製品には触れない。感電のおそれがあります。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>AC アダプターのゴミやほこりは、定期的に取り除く。ほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から 15cm 以内で使用しない。本製品が発生させる電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。本製品が発生させる電波により、ペースメーカーや除細動器の動作に影響を与えるおそれがあります。</p>

⚠注意

 <p>必ず実行</p>	<p>必ず付属の USB ケーブルを使用する。 それ以外の USB ケーブルを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。</p>	 <p>必ず実行</p> <p>再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。 突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>USB ケーブルを傷つけない。 <ul style="list-style-type: none"> • 重いものを上に載せない • 加工をしない • ステープルで止めない • 無理な力を加えない • 熱器具には近づけない 火災や感電、故障の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>環境温度が急激に変化する場所では使用しない。 環境温度が急激に変化すると、本製品に結露が発生することがあります。そのまま使用すると故障の原因になるため、結露が発生したときは電源を入れない状態で乾くまでしばらく放置してください。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>長期間使用しないときは、必ず AC アダプターをコンセントから抜く。 火災や感電の原因になります。</p>	 <p>必ず実行</p> <p>本製品に触れるときは、人体や衣服から静電気を除去する。 静電気によって故障するおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>不安定な場所や振動する場所には設置しない。 本製品が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。</p>	 <p>必ず実行</p> <p>ケーブルは正しく配置、接続する。 ケーブルを引っ張ったり足にひっかけたりすると、本製品や接続機器の転倒や落下などにより、けがや故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。 故障の原因になります。</p>	 <p>必ず実行</p> <p>外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。</p>
 <p>禁止</p>	<p>本製品の上に乗ったり、物を置いたりしない。 故障の原因になります。</p>	 <p>必ず実行</p> <p>移動をするときには電源を切り、すべての接続ケーブルを外す。 本製品や接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。</p>

使用上のご注意

- 本製品は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するには設計されていません。
- 本製品の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。雑音が入る場合は、本製品の設置場所、向きを変えてみてください。
- 本製品を譲渡する際は、本書と付属品も合わせて譲渡してください。
- 本製品を廃棄する際は、お住まいの自治体の指示に従ってください。
- 本製品の同一電源ライン上にノイズが発生する機器を接続しないでください。
- 本製品を長時間使用しないときは、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。電源を切った状態（電源がスタンバイの状態）でも微電流が流れています。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

Bluetooth® について

- Bluetooth とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、無線で通信を行なうことができる技術です。
- Bluetooth 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本製品はすべての Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

本製品の無線方式について

無線に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を搭載しています。

はじめに

ヤマハ YVC-330 をお買い上げいただきありがとうございます。本製品は PC や Mac、スマートフォンやタブレットおよびビデオ会議システムといった通信機器に接続して、遠隔地との会議や会話を快適に行なうための音声端末です。

お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や接続を行なってください。

本書はなくさないように、大切に保管してください。

- この取扱説明書では、印刷時点の最新仕様で説明をしております。取扱説明書の最新版につきましては、下記の Web サイトからダウンロードしてお読みいただけますよう、お願いいたします。
<https://sound-solution.yamaha.com/download/>
- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本製品を使用した結果により発生した情報の消失などの損失については、弊社ではいかなる責任も負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。あらかじめご了承ください。

箱の中身をご確認ください

- 本体 (YVC-330) × 1
- USB ケーブル (3m) × 1
- 取扱説明書 (本書、保証書を含む) × 1

本書の表記について

■ 略称について

本書ではそれぞれの製品について、以下のように略称で記載しています。

- Yamaha YVC-330 : 本製品
- Microsoft® Windows® : Windows
- macOS® : macOS

■ 商標について

- SoundCap は、ヤマハ株式会社の商標あるいは登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac、macOS は、Apple Inc. の登録商標です。
- Android™ は、Google Inc. の商標あるいは登録商標です。
- Bluetooth® は、Bluetooth SIG の登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。
- NFC ロゴ (N-Mark) は、NFC Forum, Inc. の商標あるいは登録商標です。
- 本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

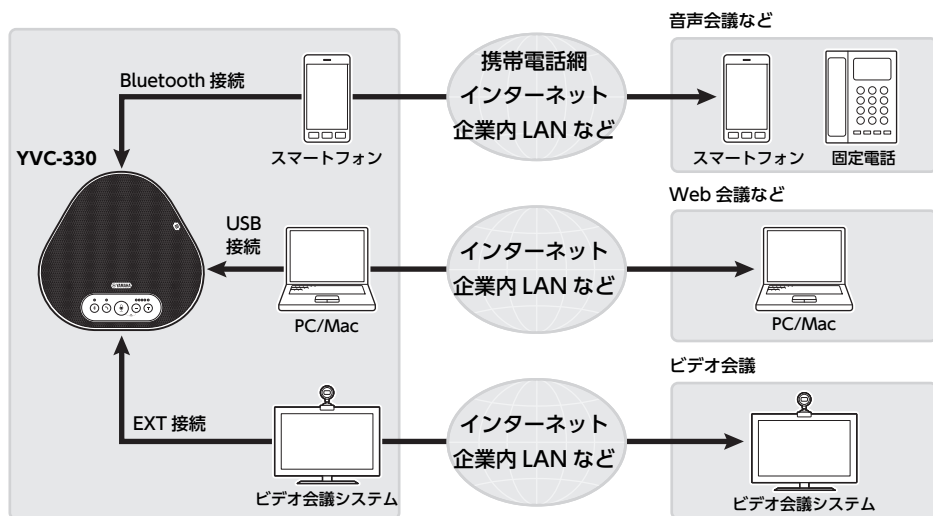
最新の機能を利用する

弊社では継続的に製品の機能を改善しております。

下記の Web サイトから本製品のファームウェアをダウンロードして、最新の機能をご利用いただけます。

<https://sound-solution.yamaha.com/download/>

こんなことができます



■ 「話しやすく」「聞きやすい」音声コミュニケーション

優れた収音能力を持つマイクと、高い再生能力を持つスピーカーを搭載しています。また適応型エコーキャンセラーやノイズリダクションなどの高性能の音声信号処理機能の搭載により、音切れや雑音のない「話しやすく」「聞きやすい」音声コミュニケーションを実現できます。

■ さまざまな通信機器との接続

PC や Mac との接続を可能にする「USB」、スマートフォンやタブレットと接続可能な「Bluetooth」、ビデオ会議システムとアナログ接続が可能な「EXT」の3つの接続インターフェースを搭載しています。「USB+Bluetooth+EXT」の同時使用も可能です（オーディオミキサー機能）。

■ さまざまな場所での使用

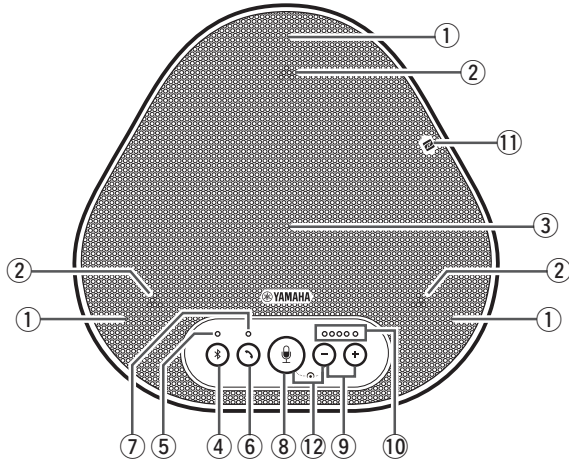
- オープンワークスペースでの使用
「収音範囲制限機能」、「マイク自動ミュート」、「スピーカー音量自動調整」から構成される、SoundCap 機能を有効にすることで、騒がしい周囲の雑音は自動的にミュートし、集音範囲（半径 1m）の音声だけを通話先に届けます。また、周囲の雑音に合わせて自動でスピーカー放音量の調整を行います。
※SoundCap 有効でご使用ください。
- 会議室での使用
小・中規模の会議室でご使用いただけます。会議室内の音声を明瞭に収音し、余裕のある最大音量で高品質な通話を可能にします。
※SoundCap 無効でご使用ください。

■ 連結接続による拡張

オプションの連結ケーブルで 2 台の本製品を連結接続することで、収音範囲や再生範囲を拡張できます。1 台ではカバーしきれない人数や広いスペースでの使用に対応できます。

各部の名称とはたらき

上面



① マイク

発話者の音声を收音します。

② マイクインジケータ

マイクの收音状態を表示します。また、Bluetooth の着信や本体のモードなども表示します。(→ 10 ページ)

③ スピーカー

通話先からの音声を出力します。

④ Bluetooth ボタン (☑)

Bluetooth 対応スマートフォンやタブレットと、ペアリングや接続、切断をする際に押します。(→ 20 ページ)

⑤ Bluetooth インジケータ

Bluetooth ボタンの操作と連動して、本製品の状態を表示します。(→ 10 ページ)

⑥ フックボタン (☑)

Bluetooth 対応スマートフォンやタブレットと接続した状態において、このボタンで着信を受けたり通話を終了することができます。(→ 27 ページ)

⑦ フックインジケータ

フックボタンの操作と連動して、本製品の状態を表示します。(→ 10 ページ)

⑧ マイクミュートボタン (☑)

マイクの機能を一時的に停止 (ミュート) するボタンです。こちら側の音声を通話先に聞こえなくします。(→ 27 ページ)

⑨ 音量ボタン (⊖ ⊕)

スピーカーの音量を調整する際に押します。0.5 秒以上押すと連続して音量を上げ下げできます。(→ 27 ページ)

⑩ 音量インジケータ

通常は通話先からの音声の入力レベルを表示します。スピーカー音量の調整時はスピーカー出力の音量レベルを表示します。

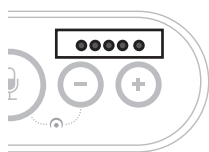
⑪ NFC ロゴ (N-Mark)

NFC (近距離無線通信) 機能搭載の Bluetooth 対応スマートフォンやタブレットをここに近づくと本製品とペアリングや接続、切断ができます。(→ 22 ページ)

⑫ SoundCap (☑ ⊖ ⊕)

SoundCap 機能の有効 / 無効を切り替えます。(→ 29 ページ)

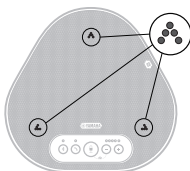
■ 音量インジケータ (9 ページ : ⑩) の表示について



状態	説明	表示例 (● : 点灯, ○ : 消灯, ☀ : 点滅)	
通常時	通話先からの音声信号の入力レベルを表示	○○○○○	音声信号入力なし
		●●●○○	音声信号入力あり
		●●●●●	音声信号入力最大
スピーカー音量調整時 (→ 27 ページ)	設定したスピーカー音量を表示	○○○○○	スピーカー音量最小
		●●●○○	スピーカー音量中間
		●●●●●	スピーカー音量最大
スピーカーミュート時 (→ 27 ページ)	ミュート中であることを表示	☀●●●○	現在の音量設定表示で点滅
起動時	起動中であることを表示	●●○○○ → ← ○○○●●	起動が終了するまで、点灯位置が左右へ往復

上記以外に、“EXT IN/OUT 端子の接続機器を選択する” (28 ページ) 際に設定内容を表示します。また、エラー発生時にその内容を表示する場合があります。(→ 30 ページ)

■ マイクインジケータ (9 ページ : ②) の表示について



状態	説明
SoundCap 無効時 (→ 29 ページ)	緑色で点灯 (音声が入力されると明るく点灯)
SoundCap 有効時 (→ 29 ページ)	青色で点灯 (音声が入力されると明るく点灯)
マイクミュート時 (→ 27 ページ)	赤色で点滅
Bluetooth 着信時 (→ 27 ページ)	緑色または青色 (マイクミュート時は赤色) で点滅 (0.25 秒間隔)

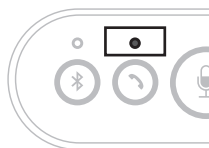
上記以外に、各種設定状態に切り替えた際、白色で点滅します。(→ 28 ページ)
また、エラー発生時に赤色で高速点滅 (0.1 秒間隔) する場合があります。(→ 30 ページ)

■ Bluetooth インジケータ (9 ページ : ⑤) の表示について



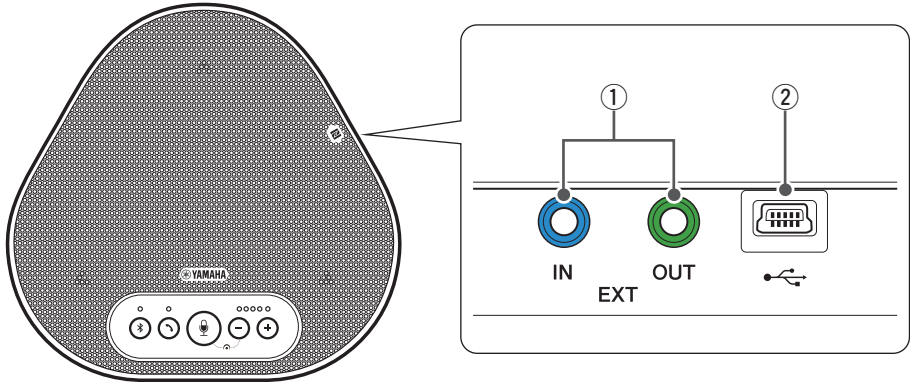
表示	状態
消灯	Bluetooth 機能無効
青色高速点滅 (0.25 秒間隔)	ペアリング待機
青色低速点滅 (0.5 秒間隔)	Bluetooth 接続待機
青色点灯	Bluetooth 接続中
緑色点灯	Bluetooth 未接続

■ フックインジケータ (9 ページ : ⑦) の表示について



表示	状態
消灯	Bluetooth 通話終了 / 着信待機
緑色点灯	Bluetooth 通話中
赤色点灯	スタンバイ

側面



① EXT IN/OUT 端子

本製品を連結して使用する際に、もう1台のYVC-330のEXT IN/OUT端子と、オプションの連結ケーブルで接続します。

(→ 24 ページ)

ビデオ会議システムのオーディオ入出力端子と接続します。(→ 23 ページ)

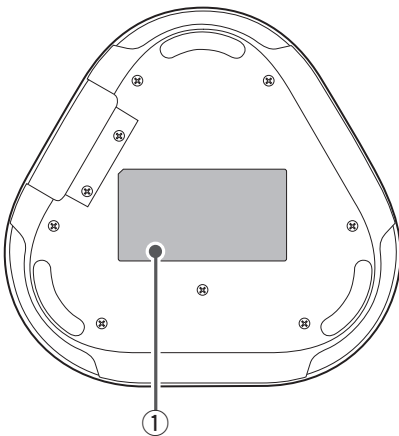
② USB 端子

付属のUSBケーブルでPCやMacと接続し通信します。

オプションのACアダプターを使ってACコンセントから電源をとることができます。

(→ 26 ページ)

底面



① 銘板

以下の情報が記載されています。

Model No. : 本製品の機器名が記載されています。

SERIAL LABEL : 製品を管理 / 区分するための製造番号 (シリアル番号) が記載されています。

設置する

本製品を実際に使用する会議室やオープンスペースに設置します。

■ 設置場所

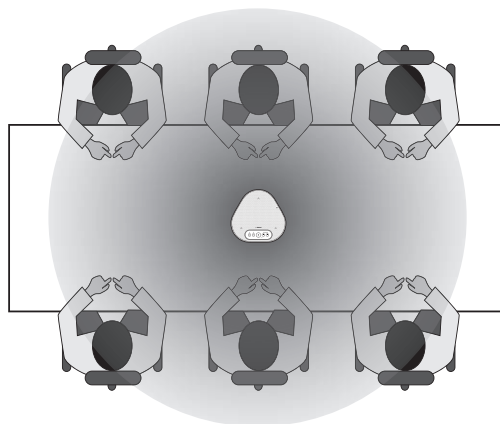
出席者の声を十分に収音でき、スピーカーからの音声が十分に聴き取れる位置を選んで設置してください。

ご注意

- 本製品は雑音源 (PC や Mac の放熱ファン、プロジェクターなど) から離して設置してください。通話先で音質が低下する場合があります。
- SoundCap を有効に設定する場合は、本製品を全ての出席者から 1m 以内に設置してください。(→ 29 ページ)

💡 ヒント

本製品をもう 1 台連結することで、より人数の多い条件でもお使いいただけます。(→ 24 ページ)



通信機器と接続する

ここでは、それぞれの通信機器の接続方法について説明します。
接続後は、音声が入力されるかどうかの確認を行なってください。

PC と USB ケーブルで接続する

■ 接続する前にご確認ください

付属の USB ケーブルをご用意ください。

また、本製品を接続する PC には、以下のシステム環境が必要です。

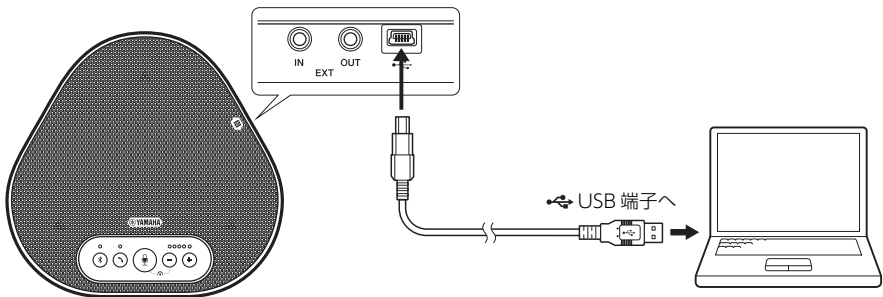
- OS : Windows (*1)
 - USB : USB2.0 以降
- (*1) 対応バージョンは、下記のウェブサイトに掲載しています。
<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/>

ご注意

- 1 台の PC に対して本製品を含めた複数のマイクやスピーカーを同時に接続して使用することはできません。
- 付属の USB ケーブル以外は使用しないでください。それ以外の USB ケーブルを使用した場合、動作に問題が生じる可能性があります。
- 本製品と PC は、直接接続してください。USB ハブを経由して接続すると、動作に問題が生じる可能性があります。
- PC の使用状況 (作業負荷やメモリ残の状況) などにより、まれに音声再生が途切れることがあります。

■ 接続する

付属の USB ケーブルで本製品と PC を接続します。



☀ ヒント

- PC から USB ケーブル経由で本製品に電源が供給されます (USB バスパワー)。
- 本製品は PC から標準の USB オーディオデバイスとして認識されるため、USB ドライバーを別途インストールする必要はありません。

■ 正しく接続されているか確認する

接続が終わったら以下の操作を行なって、PC が本製品を正しく認識していることを確認します。

ご注意

設定画面の項目などは使用する PC により異なります。

1 PC のコントロールパネルを表示させます。

- Windows 7 の場合は、「スタート」 – 「コントロールパネル」をクリックします。
- Windows 8.1/10 の場合は、スタート画面の左下端で右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2 「ハードウェアとサウンド」 – 「サウンド」をクリックします。

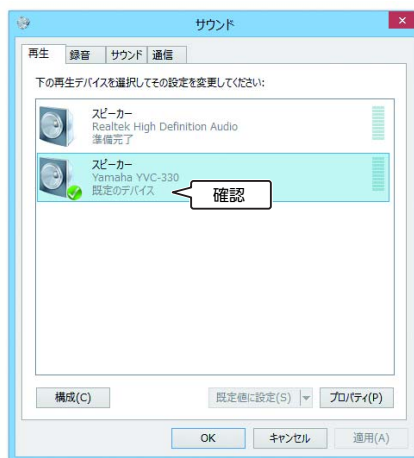
「サウンド」画面が表示されます。

3 「再生」タブをクリックします。



4 スピーカー欄の「Yamaha YVC-330」が既定のデバイスに設定されていることを確認します。

既定のデバイスに設定されていない場合は、「Yamaha YVC-330」をクリックし、「既定値に設定」をクリックします。



☀ ヒント

通常は接続するだけで自動的に「Yamaha YVC-330」が既定のデバイスに設定されます。

5 「録音」タブをクリックします。



6 マイク欄の「Yamaha YVC-330」が既定のデバイスに設定されていることを確認します。

既定のデバイスに設定されていない場合は、「Yamaha YVC-330」をクリックし、「既定値に設定」をクリックします。



ヒント

通常は接続するだけで自動的に「Yamaha YVC-330」が既定のデバイスに設定されます。

7 「OK」をクリックして、「サウンド」画面を閉じます。

■ マイク感度を調整する

使用環境によっては、通話先で音が割れたり小さすぎたりすることがあります。その場合はマイク感度を調整してください。

ご注意

設定画面の項目などは使用する PC により異なります。

1 コントロールパネルを表示させます。

- Windows 7 の場合は、「スタート」 – 「コントロールパネル」 をクリックします。
- Windows 8.1/10 の場合は、スタート画面の左下端で右クリックし、「コントロールパネル」 をクリックします。

2 「ハードウェアとサウンド」 – 「サウンド」 をクリックします。

「サウンド」画面が表示されます。

3 「録音」 タブをクリックします。

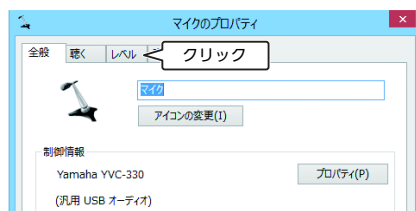


4 マイク欄の「Yamaha YVC-330」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

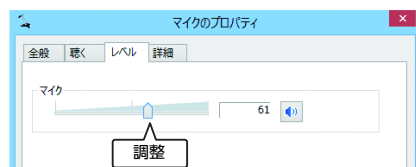
「マイクのプロパティ」画面が表示されます。



5 「レベル」 タブをクリックします。



6 「マイク」欄でマイク感度を調整します。



Mac と USB ケーブルで接続する

■ 接続する前にご確認ください

付属の USB ケーブルをご用意ください。

また、本製品を接続する Mac には、以下のシステム環境が必要です。

- OS : macOS (*1)
- USB : USB2.0 以降

(*1) 対応バージョンは、下記のウェブサイトに掲載しています。

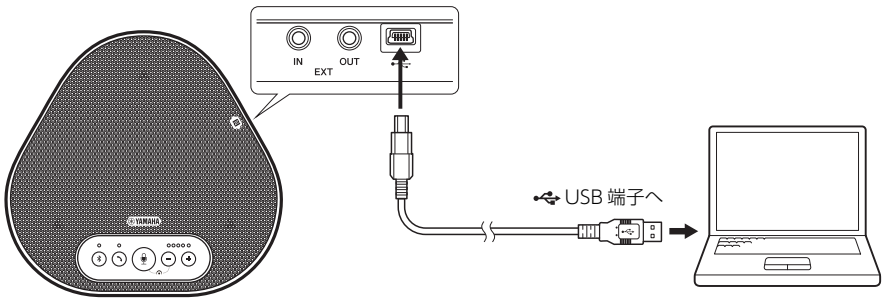
<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/>

ご注意

- 1 台の Mac に対して本製品を含めた複数のマイクやスピーカーを同時に接続して使用することはできません。
- 付属の USB ケーブル以外は使用しないでください。それ以外の USB ケーブルを使用した場合、動作に問題が生じる可能性があります。
- 本製品と Mac は、直接接続してください。USB ハブを経由して接続すると、動作に問題が生じる可能性があります。
- Mac の使用状況 (作業負荷やメモリ残の状況) などにより、まれに音声再生が途切れることがあります。

■ 接続する

付属の USB ケーブルで本製品と Mac を接続します。



☀ ヒント

- Mac から USB ケーブル経由で本製品に電源が供給されます (USB バスパワー)。
- 本製品は Mac から標準の USB オーディオデバイスとして認識されるため、USB ドライバーを別途インストールする必要はありません。

■ 正しく接続されているか確認する

接続が終わったら以下の操作を行なって、Mac が本製品を正しく認識していることを確認します。

ご注意

設定画面の項目などは使用する Mac により異なります。

1 Mac 画面左上の  をクリックして、「システム環境設定」をクリックします。

2 「サウンド」をクリックします。
「サウンド」画面が表示されます。



3 「出力」タブをクリックします。



4 「サウンドを出力する装置を選択」欄で、「Yamaha YVC-330」が選択されていることを確認します。

選択されていない場合は「Yamaha YVC-330」をクリックします。



ヒント

通常は接続するだけで自動的に「Yamaha YVC-330」が選択されます。

5 「入力」タブをクリックします。



6 「サウンドを入力する装置を選択」欄で、「Yamaha YVC-330」が選択されていることを確認します。

選択されていない場合は「Yamaha YVC-330」をクリックします。



ヒント


通常は接続するだけで自動的に「Yamaha YVC-330」が選択されます。

■ マイク感度を調整する

使用環境によっては、通話先で音が割れたり小さすぎたりすることがあります。その場合はマイク感度を調整してください。

ご注意

設定画面の項目などは使用する Mac により異なります。

1 Mac 画面左上の  から、「システム環境設定」－「サウンド」－「入力」タブの順に選択します。

2 「入力音量」欄でマイク感度を調整します。



スマートフォンやタブレットと Bluetooth 接続する

■ 接続する前にご確認ください

Bluetooth 対応のスマートフォン、タブレット（以下「スマートフォン」）をご用意ください。

ご注意

- ・ スマートフォンと本製品との距離は 10m 以内（障害物がないこと）にしてください。
- ・ 本製品はすべてのスマートフォンとの Bluetooth 接続を保証するものではありません。

☀ ヒント

- ・ 本製品はスマートフォンに「YVC-330 Yamaha」と表示されます。
- ・ 本製品と Bluetooth 接続できるスマートフォンは 1 台のみです。

■ 電源と接続する

付属の USB ケーブルで、本製品の USB 端子に AC アダプター（オプション品）を接続します。

→ “電源を供給する”（26 ページ）

☀ ヒント

AC アダプター（オプション品）がない場合でも、USB 端子に PC/Mac を接続して電源を供給することができます（USB パスパワー）。→ “電源を供給する”（26 ページ）

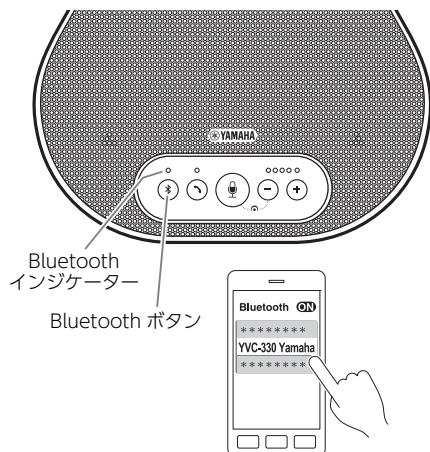
■ ペ어링する

ペアリングとは、スマートフォンを本製品に登録する操作です。初めて Bluetooth 接続を使用するときや、ペアリング情報が削除されたときは、ペアリングを行なう必要があります。

一度ペアリングを行なうと、かんたんな操作で Bluetooth 接続できるようになります。

☀ ヒント

- ・ ペ어링が完了していることをスマートフォンで確認し、成功していない場合はペアリングをやり直してください。
- ・ ペ어링操作中に本製品への電源供給が断られるとペアリング情報が破棄されることがあります。その場合はペアリングをやり直してください。
- ・ 本製品は最大 8 台のスマートフォンとペアリングできます。9 台目のペアリングが成功すると、Bluetooth 接続した日時が最も古いスマートフォンのペアリング情報が削除されます。
- ・ 本製品が別のスマートフォンと Bluetooth 接続している場合は、そのスマートフォンとの接続を切断してからペアリングしてください。



1 Bluetooth ボタン (⚡) を 2 秒以上押します。

Bluetooth インジケーターが青色の高速点滅に変わり、ペアリング可能状態になります。

2 スマートフォンでペアリング操作をします。

パスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力します。

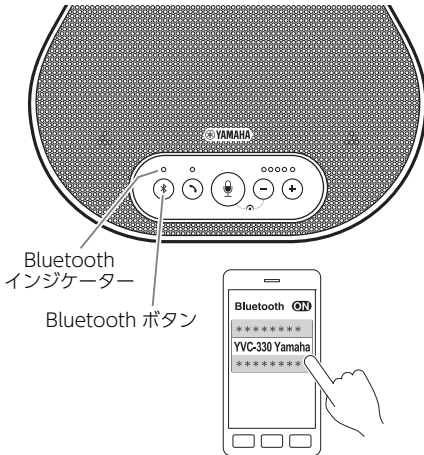
☀ ヒント

Bluetooth インジケーターが青色の高速点滅中に、Bluetooth ボタン (⚡) を押すか、ペアリングが完了しないまま 90 秒が経過すると、ペアリング可能状態は中止されます。

■ ペアリング済みスマートフォンと Bluetooth 接続する

☀ ヒント

スマートフォンによってはペアリングと同時に Bluetooth 接続されます。その場合、この操作は不要です。



1 Bluetooth ボタン (☀) を押します。

Bluetooth インジケータが青色に点滅し、Bluetooth 接続可能状態になります。

2 ペアリング済みスマートフォンで Bluetooth 接続操作をします。

接続が完了すると、Bluetooth インジケータが青色の点灯に変わります。また、Bluetooth 接続されたことを知らせる通知音が鳴ります。

☀ ヒント

Bluetooth インジケータが青色の点滅中に、Bluetooth ボタン (☀) を押すか、Bluetooth 接続が完了しないまま 90 秒が経過すると、Bluetooth 接続可能状態は中止されます。

■ NFC 機能によるペアリングおよび Bluetooth 接続する (NFC 対応機種の場合)

スマートフォンが以下の機器 (以下「NFC 対応機種」) なら、かんたんにペアリングおよび接続ができます。

- NFC 対応 Android 機器

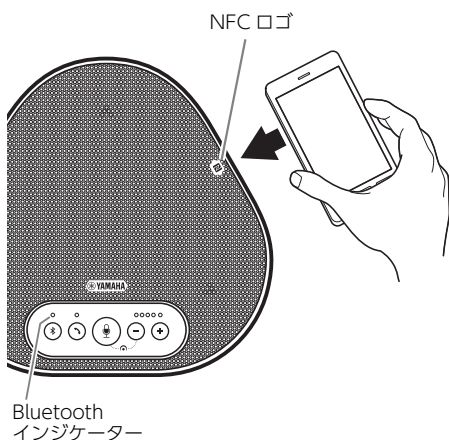
あらかじめスマートフォンの NFC 機能をオンにしておいてください。

ご注意

スマートフォンによっては動作しない、または接続可能な距離が異なる場合があります。

☀ ヒント

- スマートフォンにケースなどを付けている場合は、ケースを外してください。
- ペアリングや接続がうまくいかないときは、スマートフォンをかざす位置を変えてください。



1 本製品の NFC ロゴにスマートフォンをかざします。

接続が完了すると、Bluetooth インジケータが青色の点灯に変わります。また、Bluetooth 接続されたことを知らせる通知音が鳴ります。

■ Bluetooth 接続を切断する

Bluetooth 接続中に以下のいずれかの操作を行なうと、Bluetooth 接続が切断されます。

- Bluetooth ボタン (⊗) を押す。
- スマートフォンで Bluetooth 切断操作をする。
- スマートフォンを NFC ロゴにかざす (NFC 対応機種の場合)。

切断されると、Bluetooth インジケータが緑色の点灯に変わります。また、Bluetooth が切断されたことを知らせる通知音が鳴ります。

☀ ヒント

本製品をスタンバイ状態 (→ 26 ページ) にした場合も、Bluetooth 接続は切断されます。

ビデオ会議システムとオーディオケーブルで接続する

■ 接続する前にご確認ください

オーディオケーブルを入出力用に 2 本をご用意ください。

☀ ヒント

ビデオ会議システムは、機種によってオーディオ入力 / 出力端子の形状が異なる場合があります。その場合はご使用のビデオ会議システムのオーディオ入力 / 出力端子の形状に合ったプラグ形状のオーディオケーブルをお使いください。ビデオ会議システム側に接続するプラグの種類に関わらず、本製品側に接続するプラグはステレオミニプラグです。

■ 電源と接続する

付属の USB ケーブルで、本製品の USB 端子に AC アダプター (オプション品) を接続します。

→ “電源を供給する” (26 ページ)

☀ ヒント

AC アダプター (オプション品) がない場合でも、USB 端子に PC/Mac を接続して電源を供給することができます (USB パスパワー)。→ “電源を供給する” (26 ページ)

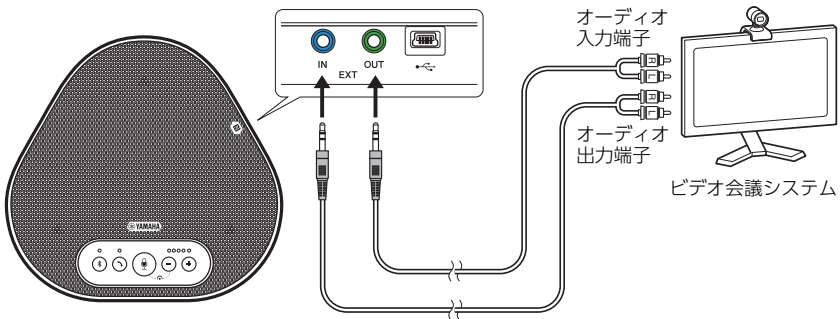
■ EXT IN/OUT 端子機能の設定

“EXT IN/OUT 端子の接続機器を選択する” (28 ページ) の手順に従って、あらかじめ EXT IN/OUT 端子の機能を「ビデオ会議システム」に切り替えます。

■ ビデオ会議システムと接続する

オーディオケーブルで本製品とビデオ会議システムを接続します。

下図はビデオ会議システム側のオーディオ入力 / 出力端子が RCA ピンプラグの場合の例です。



ご注意

本製品を連結して使用する場合、ビデオ会議システムとは接続できません。

■ ビデオ会議システムの設定

本製品がビデオ会議システムのマイクおよびスピーカーとして使用されるように、ビデオ会議システムの音声入出力の設定を変更してください。

ご注意

ビデオ会議システム側のマイクとスピーカーは必ず無効にしてください。

連結接続する

PC/Mac と USB ケーブルで接続する場合や、スマートフォンやタブレットと Bluetooth で接続する場合は、もう 1 台の本製品と連結することで、收音範囲や再生範囲を拡張できます。

ご注意

- ビデオ会議システムと本製品の EXT IN/OUT 端子を接続して使用する場合は、連結接続はできません。
- SoundCap 機能と連結接続の同時使用はできません。
- SoundCap 有効時に連結接続すると、SoundCap が解除されます。
- 連結接続時は SoundCap を有効にできません。

■ 接続する前にご確認ください

以下のものをご用意ください。

- 本製品 x2 台
- 連結ケーブル (オプション : YCBL-DC3M) x1 本
- AC アダプター (オプション : YPS-USB5VJ) x1 個 (USB 接続の場合) または 2 個 (Bluetooth 接続の場合)

■ 接続する

1 PC/Mac と USB ケーブルで接続します。 (→ 13、17 ページ)

もしくはスマートフォンやタブレットと Bluetooth で接続します。 (→ 20 ページ)

こちらが親機となります。

2 もう 1 台の本製品に AC アダプターを接続します。 (→ 26 ページ)

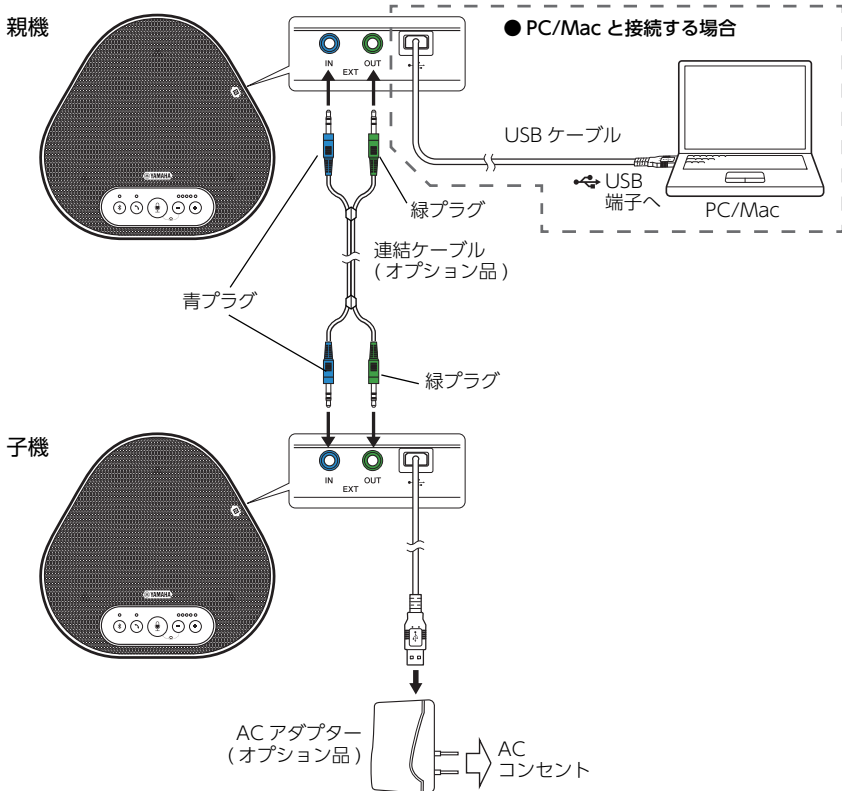
こちらが子機となります。

3 親機、子機ともに EXT IN/OUT 端子の接続機器を「YVC-330 連結」の設定にします。

→ “EXT IN/OUT 端子の接続機器を選択する” (28 ページ)

4 連結ケーブルで親機と子機の EXT IN/OUT 端子を接続します。

親機、子機ともに EXT IN 端子 (青) には連結ケーブルの青のプラグ、EXT OUT 端子 (緑) には連結ケーブルの緑のプラグを接続します。
連結接続が成立すると通知音が鳴ります。



ご注意

- 連結ケーブルは必ずオプションの YCBL-DC3M をお使いください。それ以外の連結ケーブルを使用した場合、動作に問題が生じる可能性があります。
- 親機同士を接続すると、正しく連結接続されません (インジケータがエラー表示となります)。

■ 連結接続時の動作

連結接続した場合は、以下の仕様で動作します。

- 通話先からの音声信号を、親機 / 子機で同様にスピーカー出力します。
- 親機 / 子機それぞれのマイクで収録した信号をミックスして通話先へ出力します。
- マイクミュートボタン (🔇)、音量ボタン (⊖ ⊕)、フックボタン (📞) は、親機側 / 子機側どちらでも操作でき、連動します。
- Bluetooth 設定および NFC 操作は親機側でのみできます。子機側では設定できません。

便利な機能を使う

ここでは、本製品で利用できる便利な機能について説明します。

電源を供給する

本製品への電源供給には、以下の2通りの方法があります。

■ USB バスパワーによる供給

本製品をPC/Macと接続して使う場合は、両装置のUSB端子間を付属のUSBケーブルで接続します。(→13、17ページ)

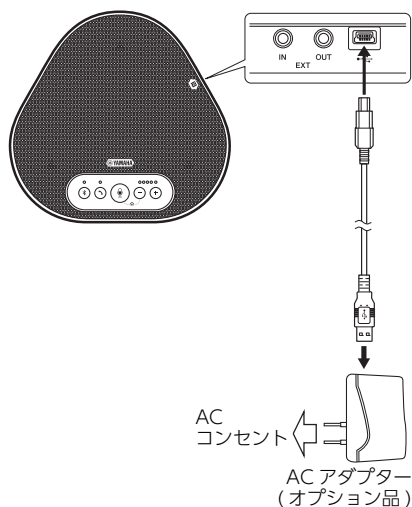
その際、音声データの通信と同時にPC/Macから本製品へ電源が供給されます(USBバスパワー)。

ご注意

本製品とPC/Macとは直接接続してください。USBハブ経由で接続した場合、動作に問題が生じることがあります。

■ ACアダプターによる供給

USBバスパワーによる供給が得られない場合は、下図のようにオプションのACアダプター(YPS-USB5VJ)にUSBケーブルを接続し、ACコンセントから電源を供給します。



スタンバイ状態に入る / 戻る (ACアダプター時)

本製品の消費電力を抑えて待機(スタンバイ)状態にする機能です。

ご注意

この機能は、ACアダプターより電源供給している場合のみ有効です。

■ スタンバイ状態に入る

フックボタン(Ⓞ)を2秒以上押し、スタンバイ状態になります。

スタンバイ状態では、フックインジケータのみ赤色点灯し、それ以外はすべて消灯します。Bluetooth接続状態だった場合は切断されます。

■ スタンバイ状態から戻る



スタンバイ状態でフックボタン(Ⓞ)を2秒以上押し、スタンバイ状態から戻ります。

またはスマートフォン(NFCデバイス)を本製品のNFCロゴにかざすことでも、スタンバイ状態から戻ります。その場合はBluetooth接続状態になります。

ご注意

本製品を長時間使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。電源を切った状態(電源がスタンバイの状態)でも微電流が流れていません。

スピーカー音量を調整する

スピーカーの出力音量（通話先からの音声）は、音量ボタン（ )を押して調整します。音量ボタンを操作すると、音量インジケータに音量レベルが表示されます。ボタンを押すごとに音量がステップアップ / ステップダウンします。0.5 秒以上押すと連続して音量が変化します。

表示例（●：点灯、○：消灯）

● ○ ○ ○ ○	スピーカー音量最小
● ● ● ● ●	スピーカー音量最大

ご注意

スピーカーの音量は、音が割れないように調整してください。音が割れると、通話先でエコーが発生する場合があります。


ヒント

PC または Mac を USB ケーブルで接続している場合は、PC または Mac 側のスピーカー音量設定を変更すると、その値に従って本製品のスピーカー音量も変わります。


マイクをミュートする

マイクを一時的に停止することで、こちら側の音声を通話先に聞こえなくします。

■ マイクをミュートする

マイクミュートボタン（)を押します。マイクインジケータが赤色の点滅に変わり、マイクがミュートされます。

■ マイクミュートを解除する

マイクミュート中に、マイクミュートボタン（)を押します。マイクインジケータが緑色または青色の点滅に変わり、マイクミュートが解除されます。

スピーカーをミュートする

スピーカーを一時的に停止することで、通話先からの音声を聞こえなくします。PC または Mac を USB ケーブルで接続している場合のみ設定が可能です。

■ スピーカーをミュートする



PC または Mac でスピーカー（出力）をミュートします。

音量インジケータが現在の音量表示で緑色の点滅に変わり、スピーカーがミュートされます。

■ スピーカーミュートを解除する

スピーカーミュート中に、PC または Mac でスピーカー（出力）のミュートを解除します。音量インジケータの点滅が終了し、スピーカーミュートが解除されます。

ヒント


音量ボタン（ )を押すことでもスピーカーミュートは解除されます。

Bluetooth 着信を受ける / 通話を終了する

Bluetooth 接続中のスマートフォンの電話機能と連動します。

■ 着信を受ける

Bluetooth 接続中のスマートフォンに着信があると、マイクインジケータが緑色または青色（マイクミュート時は赤色）で点滅（0.25 秒間隔）します。

着信中にフックボタン（)を押すと、本製品のマイクとスピーカーを使って通話ができます。通話中はフックインジケータが緑色で点灯します。

ご注意

スマートフォンによっては、着信を受けた後にスマートフォン側のマイクとスピーカーが有効となる場合があります。その場合はスマートフォンのオーディオソース設定で YVC-330 を選択して、本製品のマイクとスピーカーを有効にしてください。

■ 通話を終了する

通話中にフックボタン（)を押すと、フックインジケータが消灯し、通話が終了されます。

EXT IN/OUT 端子の接続機器 を選択する

本製品の EXT IN/OUT 端子は、本製品を連結する場合と、ビデオ会議システムを接続する場合の 2通りの用途で使用します。

接続対象の機器に合わせて、以下の手順で設定を切り替えてください。

1 音量ボタン (⊖ ⊕) を同時に 2 秒以上 押します。

通知音が鳴り、マイクインジケーターが白色で点滅します。

2 音量ボタン (⊖ ⊕) を押して、音量インジケーターの表示を接続する機器の設定にします。

表示例 (● : 点灯、○ : 消灯)	
● ○ ○ ○ ○	YVC-330 連結
○ ● ○ ○ ○	ビデオ会議システム

ヒント

工場出荷時設定は YVC-330 連結です。

3 音量ボタン (⊖ ⊕) を同時に 0.5 秒以上 上押します。

設定が確定されると通知音が鳴り、マイクインジケーターが緑点灯または青点灯 (マイクミュート時は赤点滅) に戻ります。

Bluetooth 機能を有効 / 無効にする

Bluetooth 接続を使用しない場合に、Bluetooth 機能を無効にできます。再度 Bluetooth 接続を使用する場合は、Bluetooth 機能を有効にしてください。

1 音量ボタン (⊖ ⊕) を同時に 2 秒以上 押します。

通知音が鳴り、マイクインジケーターが白色で点滅します。

2 Bluetooth ボタン (Ⓜ) を押して機能の有効 / 無効を切り替えます。

Bluetooth インジケーターが緑色点灯で機能有効、消灯で機能無効を表わします。

3 音量ボタン (⊖ ⊕) を同時に 0.5 秒以上 上押します。

設定が確定されると通知音が鳴り、マイクインジケーターが緑点灯または青点灯 (マイクミュート時は赤点滅) に戻ります。

工場出荷時設定に戻す

本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

1 音量ボタン (⊖ ⊕) を同時に 2 秒以上 押します。

通知音が鳴り、マイクインジケーターが白色で点滅します。

2 フックボタン (Ⓜ) と音量-ボタン (⊖) を同時に 2 秒以上押します。

通知音が鳴り、音量インジケーターが緑色点灯で左右に移動します。それ以外のインジケーターは消灯します。

3 音量インジケーターが消灯し、起動時の状態になったら、工場出荷状態に戻っています。

ヒント

工場出荷時設定に戻すと、Bluetooth のペアリング情報などの設定が消去されます。必要に応じて設定しなおしてください。

SoundCap を使用する

「収音範囲制限機能」、「マイク自動ミュート」、「スピーカー音量自動調整」から構成される、SoundCap 機能を有効にすることで、騒がしい周囲の雑音は自動的にミュートし、集音範囲（半径 1m）の音声だけを通話先に届けます。また、周囲の雑音に合わせて自動でスピーカー放音量の調整を行います。本製品をオープンワークスペースで使用する場合は SoundCap を有効に、会議室で使用する場合は SoundCap を無効に設定してください。

ご注意

SoundCap を有効に設定する場合は、本製品を全ての出席者から 1m 以内に設置してください。

[\(→ 12 ページ\)](#)

■ SoundCap の設定状態を確認する

マイクをミュートしていないとき、マイクインジケータの表示が青色点灯であれば SoundCap が有効に、緑色点灯であれば SoundCap が無効に設定されています。

■ SoundCap の有効 / 無効を切り替える

マイクミュートボタン (M) と音量ボタン (V) を同時に押します。通知音が鳴り、SoundCap の有効 / 無効が切り替わります。

困ったときは

お問い合わせになる前に

本書の内容をご覧になり、問題が解決できるかどうかご確認ください。それでも問題が解決しない場合は、サポート窓口（→37ページ）までご相談ください。

Q1 インジケーターが消灯 / 点滅している

症状	原因	対策
起動していないように見える	(全インジケーターが消灯なら)USBケーブルが抜けた。	USBケーブルをPCやMacまたはACアダプターにしっかりと接続してください。 (→13、17、26ページ)
	(フックインジケーターが赤色で点灯なら)スタンバイ状態になっている。	スタンバイ状態から復帰してください。(→26ページ)
音声が聞こえない	(音量インジケーターの点灯位置が左右に往復し続けているなら)起動が完了していない。	起動が完了するのを待ってください。(→10ページ)
	(マイクインジケーターが白色で点滅なら)設定中状態になっている。	設定中状態から復帰してください。(→28ページ)
エラーが発生した(マイクインジケーターが赤色で高速点滅)	(左から1番目の音量インジケーターのみが緑色で点灯なら)親機同士を連結接続している。	親機と子機を正しく連結接続してください。 (→24ページ)
	(左から2番目の音量インジケーターのみが緑色で点灯なら)ファームウェアアップデートに失敗した。	再度ファームウェアアップデートを実行してください。
	(その他のパターンで音量インジケーターが緑色に点灯なら)ソフトウェアまたはハードウェアに異常が発生した。	本製品の修理を依頼してください。

Q2 通話音質に問題がある

症状	原因	対策
音声が聞こえない	スピーカーミュートがはたらいている。	スピーカーミュートを解除してください。(→27ページ)
	スピーカー音量が最小になっている。	スピーカー音量を上げてください。(→27ページ)
	USB接続したPCまたはMacの通話アプリで、YVC-330以外のスピーカーが選択されている。	通話アプリのスピーカーデバイス設定でYVC-330を選択してください。

症状	原因	対策
音声が聞こえない	通話先のマイクミュートがはたらいている。	通話先のマイクミュートを解除してください。
	通話先のマイク感度が最小になっている。	通話先のマイク感度を上げてください。
通話先で音声が聞こえない	マイクミュートがはたらいている。	マイクミュートを解除してください。(→ 27 ページ)
	USB 接続した PC または Mac で、マイク感度が最小になっている。	マイク感度を上げてください。(→ 16、19 ページ)
	USB 接続した PC または Mac の通話アプリで、YVC-330 以外のマイクが選択されている。	通話アプリのマイクデバイス設定で YVC-330 を選択してください。
	通話先のスピーカーミュートがはたらいている。	通話先のスピーカーミュートを解除してください。
	通話先のスピーカー音量が最小になっている。	通話先のスピーカー音量を上げてください。
本製品から離れた場所の音声が通話先で聞こえない	SoundCap が有効になっている。	SoundCap を無効にしてください。(→ 29 ページ)
エコーが聞こえる	通話先の機器構成や使用環境に問題がある。	—
通話先でエコーやハウリングが聞こえる	USB 接続した PC または Mac が、本製品を正しく認識していない。	PC または Mac の設定を確認してください。(→ 14、18 ページ)
	USB 接続した PC または Mac の通話アプリで、YVC-330 以外のスピーカーとマイクが選択されている。	通話アプリのスピーカーデバイス設定とマイクデバイス設定で YVC-330 を選択してください。
	EXT IN/OUT 端子にビデオ会議システムを接続している場合、接続機器設定が「YVC-330 連結」になっている。	接続機器設定を「ビデオ会議システム」に変更してください。(→ 28 ページ)
	EXT IN/OUT 端子に遅延や歪の大きいビデオ会議システムを接続している。	遅延や歪の小さいビデオ会議システムを使ってください。
	本製品を壁の近くに設置している。	壁の近くを避けて設置してください。
	本製品の近くに物を置いている。	近くにはできるだけ物を置かないようにしてください。
	反響の大きい部屋で使用している。	<ul style="list-style-type: none"> マイクの前を避けて、吸音性の高い物体を部屋に置いてください。 反響を減らすために、スピーカー音量を下げてください。(→ 27 ページ)

症状	原因	対策
雑音が聞こえる	通話先の機器構成や使用環境に問題がある。	—
通話先で雑音が聞こえる	本製品の近くに雑音を発生させる機器がある。	雑音源からできるだけ離して設置してください。
	本製品を設置している空間全体の雑音大きい。	雑音を出している機器がある場合は、その機器の電源を切ってください。
音が割れる	EXT IN 端子に接続したビデオ会議システムの出力レベル大きい。	ビデオ会議システムの出力レベルを下げてください。
	通話先のマイク感度が大きい。	通話先のマイク感度を下げてください。
通話先で音が割れる	マイクの入力レベル大きい。	本製品を話者から離してください。
	USB 接続した PC または Mac のマイク感度が大きい。	マイク感度を下げてください。(→ 16、19 ページ)
	EXT OUT 端子に接続したビデオ会議システムの入力がラインレベルでない。	ラインレベル入力に対応したビデオ会議システムを接続してください。
	EXT OUT 端子に接続したビデオ会議システムの出力音量大きい。	ビデオ会議システム側で音量を下げてください。
	通話先のスピーカーの音量大きい。	通話先のスピーカー音量を下げてください。
通話先で音が小さい	USB 接続した PC または Mac のマイク感度が小さい。	マイク感度を上げてください。(→ 16、19 ページ)
	EXT OUT 端子に接続したビデオ会議システムの出力音量小さい。	ビデオ会議システム側で音量を上げてください。
連結接続時に子機で收音した音声に通話先に届かない	EXT IN/OUT 端子の接続機器設定が「ビデオ会議システム」になっている。	接続機器設定を「YVC-330 連結」に変更してください。(→ 28 ページ)
連結接続時に通話先から送られてきた音声が子機から再生されない		
連結接続時にエコーが聞こえる		

Q3 Bluetooth 接続に問題がある

症状	原因	対策
スマートフォンと Bluetooth でペアリングできない	(Bluetooth インジケータが消灯しているなら) Bluetooth が無効になっている。	Bluetooth を有効にしてください。(→ 28 ページ)
	ペアリングさせたいスマートフォンに、他の YVC-330 とのペアリング情報がある。	他の YVC-330 のペアリング情報をスマートフォンから削除し、目的の YVC-330 とペアリングしてください。(→ 20 ページ)
スマートフォンと Bluetooth で接続できない	(Bluetooth インジケータが消灯しているなら) Bluetooth が無効になっている。	Bluetooth を有効にしてください。(→ 28 ページ)
	(Bluetooth インジケータが緑色に点灯しているなら) スマートフォンと Bluetooth でペアリングされていない。	スマートフォンとペアリングしてください。(→ 20 ページ)
	(Bluetooth インジケータが青色に点灯しているなら) 他のスマートフォンが Bluetooth で接続されている。	他のスマートフォンとの接続を切断してから、目的のスマートフォンと接続してください。(→ 22、20 ページ)
スマートフォン経由で通話先の音声スピーカーから聞こえない	(Bluetooth インジケータが消灯しているなら) Bluetooth が無効になっている。	Bluetooth を有効にしてから、スマートフォンを接続してください。(→ 28、20 ページ)
	(Bluetooth インジケータが緑色に点灯しているなら) スマートフォンが Bluetooth で接続されていない。	スマートフォンを接続してください。(→ 20 ページ)
	スマートフォンのオーディオソース設定で YVC-330 が選択されていない。	スマートフォンのオーディオソース設定で YVC-330 を選択してください。(→ 27 ページ)

主な仕様

総合

外部インターフェース：	USB 2.0 Full Speed、Bluetooth、NFC（近距離無線通信）、EXT IN/OUT(ステレオミニ)
最大消費電力：	2.5W
電波障害規格：	VCCI クラス A
動作環境：	温度：0～40℃ 湿度：20～85%（結露しないこと）
保管環境：	温度：-20～+50℃ 湿度：10～90%（結露しないこと）
寸法：	235 (W) x 46 (H) x 226 (D) mm
質量：	0.8kg
電源：	USB バスパワー、AC アダプター（オプション）
PC/Mac 動作環境：	OS：Windows (*1)、macOS (*1) USB：USB 2.0 以降
Bluetooth：	Bluetooth バージョン：Ver.2.1+EDR 対応プロファイル：HFP(1.6)、A2DP 対応コーデック：SBC、mSBC、CVSD 無線出力：Class2 最大通信距離：10m（障害物がないこと）
NFC：	対応機種：NFC 対応 Android 機器
付属品：	USB ケーブル(3m)、取扱説明書（保証書を含む）
その他：	ファームウェアアップデート(PC/Mac より USB で転送)

(*1) 対応バージョンは、下記のウェブサイトに掲載しています。
<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/>

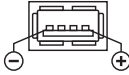
オーディオ

マイクユニット：	単一指向性 × 3
スピーカーユニット：	フルレンジ × 1
信号処理：	適応型エコーキャンセラー、ノイズリダクション、マイク自動追尾、オートゲインコントロール、残響抑圧、SoundCap

オプション

ACアダプター：

品番：YPS-USB5VJ
定格入力：AC100V 50/60Hz
定格出力：DC5V 1A
極性：



連結ケーブル：

品番：YCBL-DC3M
ケーブル長：3m
端子形状：ステレオミニ x2- ステレオミニ x2

本製品のお客様サポートについて（サポート規定）

ヤマハ株式会社は、お客様が本製品を快適にご利用いただけますように、また本製品の性能、機能を最大限に活用していただけますように、以下の内容、条件でサポートをご提供します。

1. サポート方法

- ① FAQ、技術情報、設定例、ソリューション例などの Web 掲載
 - ② 電話でのご質問への回答
 - ③ お問い合わせフォームからのご質問への回答
 - ④ カタログ送付
 - ⑤ 代理店・販売店からの回答
- ご質問内容によっては代理店・販売店へご質問内容を案内し、代理店・販売店よりご回答させていただきます場合がございますのであらかじめご了承のほどお願い致します。

2. サポート項目

- ① 製品仕様について
- ② お客様のご利用環境に適した弊社製品の選定について
- ③ 簡易な構成での利用方法について
- ④ 製品の修理について
- ⑤ 代理店または販売店のご紹介

3. 免責事項・注意事項

- ① 回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもって行ないませんが、回答内容の保証、および回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。また、サポートの結果または製品をご利用いただいたことによって生じたデータの消失や動作不良などによって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益などを含む損失およびそれらに付随的な損失などのあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。なお、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。ただし、契約および法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものと致します。
- ② ファームウェアの修正は弊社が修正を必要と認めたものについて生産終了後 2 年間行ないません。

- ③ 質問受付対応、修理対応は生産終了後 5 年間行ないません。
- ④ 期日・時間指定のサポート、日本語以外でのサポートは行なっていません。
- ⑤ お問い合わせの回答を行なうにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。
- ⑥ 再現性がない、および特殊な環境でしか起きないなどの事象に関しては、解決のための時間がかかったり適切なサポートが行えない場合があります。
- ⑦ 他社サービス、他社製品、および他社製品との相互接続に関してのサポートは弊社 Web 上に掲載している範囲に限定されません。
- ⑧ やむを得ない事由により本製品の返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。なお、返品・交換に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。
- ⑨ 製品の修理は代理店・販売店経由で受け付けさせていただきます。弊社への直接持ち込みはできません。また、着払いでの修理品受付は致しておりません。発送は弊社指定の通常宅配便（国内発送のみ）にて行なわせていただきます。修理完了予定期間は変更になる場合がありますのでご了承のほどお願い致します。なお、保証期間中の無料修理（無料例外事項）などの詳細規定は保証書に記載しております。
- ⑩ 上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

サポート窓口のご案内

本製品に関するご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

■ 音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター

TEL : 03-5651-1838 FAX : 053-460-3489

ご相談受付時間 9 : 00 ~ 12 : 00 13 : 00 ~ 17 : 00

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

■ お問い合わせページ

<https://sound-solution.yamaha.com/support/uc/>

本製品の保守サービスについて

■ 保証書と保証期間

保証書は本書に掲載されています。保証期間は保証書をご覧ください。

■ 保証期間中の修理

保証書に記載の保証規定により、無料で修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。お買い上げの販売店または本書に記載されているサポート窓口までご連絡ください。

保証書

持込修理

このたびはヤマハ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本保証書は、本書記載の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本保証書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名 ユニファイドコミュニケーションスピーカーフォン 品番 YVC-330		
製造番号		
お客様	ご住所 〒	お名前
		電話 ()
販売店 / 住所 / 電話番号		
お買い上げ日 年 月 日 保証期間はお買い上げ日から2年間です。		

※保証書は、「お買い上げ年月日」が確認できるレシートなどと一緒大切に保管してください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町1-1

音声コミュニケーション機器お客様相談センター
TEL 03-5651-1838

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、本製品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご購入後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、取扱説明書に記載されているヤマハサポート窓口にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書に、お買い上げの年月日、お客様、お買い上げの販売店の記入がない場合、および本保証書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
※本保証書は本保証書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本保証書によってお客様の法律上の権利を規制するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書に記載されておりサポート窓口までお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

Manual Development Group
© 2019 Yamaha Corporation
2021年3月 発行
ABES-B0

ヤマハ株式会社

VFF4490